



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月14日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <https://www.hotta-marusho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平岩 誠

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 矢部 和秀

TEL 03-6824-9481

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	784	17.8	75		53		56	
2024年3月期第1四半期	955	1.3	33		17		19	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 46百万円 ( %) 2024年3月期第1四半期 26百万円 (44.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	1.01	
2024年3月期第1四半期	0.34	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	3,756	3,016	80.3	53.63
2024年3月期	3,803	3,062	80.5	54.46

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 3,016百万円 2024年3月期 3,062百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	19.1	68		70		59	203.7	1.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	59,640,348 株	2024年3月期	59,640,348 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,395,907 株	2024年3月期	3,395,907 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	56,244,441 株	2024年3月期1Q	56,244,395 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個企業収益の改善や消費行動の回復など経済活動の正常化が見られた一方で、中東地域やロシア・ウクライナでの紛争の長期化、円安傾向の継続、エネルギーコストの高騰や商品・サービス価格の上昇もあり、消費マインドの動向および経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは中長期視点での価値創造を前提とした事業の選択と集中ならびにバリューチェーンの強化、成長分野への投資を継続的に推進し、成長のための基盤づくりを行ってまいりました。

また、当社グループのコア事業であるファッション事業ならびにマテリアル事業に経営資源を集中し、ファッション事業においては、百貨店向け新規PB商品の開発・ポップアップストア出展、D2CブランドにおけるWEB広告の強化・顧客コミュニケーションの強化など、マテリアル事業においては、サステナブル素材への切り替えや欧州展示会への出展に向けたプロジェクトの立ち上げなどに取り組み、新たな価値創造を推進いたしました。

しかしながら、収益性を鑑みた取引先の取捨選択やマテリアル事業における中国内需の受注減などにより減収となり、円安等による仕入コストの上昇や新たな価値創造に向けた投資もあり減益となりました。また、ライフスタイル事業のギフト部門を2023年6月30日に売却したことの影響もあり、全社において減収減益となりました。

この結果、売上高は7億84百万円（前年同四半期比17.8%減）、営業損失は75百万円（前年同四半期は営業損失33百万円）、経常損失は53百万円（前年同四半期は経常損失17百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は56百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益19百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (きもの事業)

きもの事業は、百貨店部門が、商品調達・供給体制の改善、外商取組と現場力の強化により、顕在化需要ならびに潜在的需要へのアプローチが最適化され、増収増益となった一方、専門店部門は、新規催事企画の推進、新商品の販売等新たな取り組みが一定の成果を得ましたが、既存の落ち込みをカバー出来ず減収減益となりました。

この結果、売上高は1億71百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業損失は10百万円（前年同四半期は営業損失3百万円）となりました。

#### (ライフスタイル事業)

ライフスタイル事業は、既存のヘルスケア部門において、大口取引先からの受注が堅調に推移、増収増益となりましたが、新規プロダクト企画開発への投資を推進するとともにギフト部門の売却により減収減益となりました。

この結果、売上高は10百万円（前年同四半期比88.9%減）、営業損失は2百万円（前年同四半期は営業利益6百万円）となりました。

#### (ファッション事業)

ファッション事業は、卸事業におけるジュニア部門は、円安による原価高が進行するとともに収益性を鑑みた取引先の選択と集中により減収増益、ホームファッション部門は、PB品含め受注は好調に推移するも円安進行による原価高を吸収できず増収減益、ミセス部門は、PB品の受注ならびに催事販売が好調に推移し増収となるも、催事における人件費の増加ならびに百貨店向け新規PB企画開発への投資を推進し減益となりました。イエリ（旧製品企画）部門は、大口取引先からの受注が戻り増収増益、D2C事業は、ブランドの取捨選択をするとともにポップアップストア出展、WEB広告投下等のマーケティング施策への継続投資を続け、増収増益となりました。

この結果、売上高は3億70百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業利益は1百万円（前年同四半期比91.3%減）となりました。

#### (マテリアル事業)

マテリアル事業は、国内事業が中国内需向け大口取引先からの受注減、サステナブル素材への切替えに伴う受注期ずれもあり減収減益、上海事業は大口取引先含む内需の受注が低調となり減収減益となりました。海外売上獲得において中国内シェアの向上に引き続き取り組む一方、中国以外の海外売上獲得に向け、企画開発を強化するとともにSX・DXを推進いたしました。

この結果、売上高は2億30百万円（前年同四半期比24.0%減）、営業損失は12百万円（前年同四半期は営業利益3百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は35億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が96百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が1億13百万円減少したことによるものであります。固定資産は2億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は37億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は7億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。固定負債は30百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は7億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は30億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失56百万円の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.3%（前連結会計年度末は80.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失1億90百万円及び経常損失1億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益19百万円を計上する結果となりました。当社グループの業績は、前連結会計年度まで6期連続で営業損失、経常損失を計上しております。そのため過去の業績も考慮し、継続企業の前提に関する注記を開示するまでに至りませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当期の利益計画において、連結営業利益の黒字化を見込んでいるとともに、保有現預金から資金計画上、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	420,270	357,899
受取手形、売掛金及び契約資産	628,599	515,183
電子記録債権	100,868	130,481
商品及び製品	861,379	958,213
原材料及び貯蔵品	43,335	46,329
短期貸付金	1,500,000	1,500,000
その他	41,636	53,916
貸倒引当金	△10,198	△10,144
流動資産合計	3,585,891	3,551,878
固定資産		
有形固定資産	106,927	104,970
投資その他の資産		
その他	135,662	125,005
貸倒引当金	△24,771	△25,221
投資その他の資産合計	110,890	99,784
固定資産合計	217,818	204,754
資産合計	3,803,709	3,756,633
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	269,387	305,684
電子記録債務	280,864	290,613
未払法人税等	7,071	2,031
その他	152,231	111,469
流動負債合計	709,554	709,798
固定負債		
資産除去債務	8,460	8,476
その他	22,712	21,741
固定負債合計	31,172	30,217
負債合計	740,727	740,016
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,236,690	3,236,690
利益剰余金	47,800	△8,747
自己株式	△389,576	△389,576
株主資本合計	2,994,914	2,938,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,628	8,793
為替換算調整勘定	57,438	69,456
その他の包括利益累計額合計	68,067	78,249
純資産合計	3,062,982	3,016,617
負債純資産合計	3,803,709	3,756,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	955,302	784,826
売上原価	651,316	518,196
売上総利益	303,985	266,629
販売費及び一般管理費	337,284	342,464
営業損失(△)	△33,298	△75,834
営業外収益		
受取利息	10,973	19,419
受取配当金	821	859
為替差益	2,527	1,670
その他	1,854	762
営業外収益合計	16,177	22,711
営業外費用		
支払利息	87	48
その他	34	4
営業外費用合計	121	52
経常損失(△)	△17,242	△53,175
特別利益		
関係会社株式売却益	39,730	-
特別利益合計	39,730	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	22,488	△53,175
法人税、住民税及び事業税	3,424	3,371
法人税等合計	3,424	3,371
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,064	△56,547
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	19,064	△56,547

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,064	△56,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,755	△1,835
為替換算調整勘定	5,458	12,017
その他の包括利益合計	7,214	10,182
四半期包括利益	26,278	△46,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,278	△46,365



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,451千円	2,011千円

(注) のれんの償却額はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	176,228	90,668	385,594	302,811	955,302	-	955,302	-	955,302
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	176,228	90,668	385,594	302,811	955,302	-	955,302	-	955,302
セグメント利益(又はセグメント 損失(△))	△3,641	6,046	16,309	3,277	21,992	-	21,992	△55,290	△33,298

(注) 1. セグメント利益の調整額△55,290千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	171,399	10,094	370,408	230,204	782,107	2,719	784,826	-	784,826
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	171,399	10,094	370,408	230,204	782,107	2,719	784,826	-	784,826
セグメント利益(又はセグメント 損失(△))	△10,690	△2,005	1,412	△12,048	△23,332	314	△23,017	△52,817	△75,834

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△52,817千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。